

## 交通バリアフリー教室の開催状況（平成30年度）

### （1）趣旨・目的

高齢者や障害者などの自立と社会参加の要請へ適切に対応し、高齢者や障害者などが公共交通機関を円滑に利用できるようにするため、国をはじめとして社会全体で施設整備（ハード施策）のみならず手助けをしやすい環境づくり（ソフト施策）を進めることも必要です。

このソフト施策のひとつとして「交通バリアフリー教室」を開催し、国民一人ひとりが高齢者や障害者などに対する介助や講話等の体験をし、交通バリアフリーについて理解を深めるとともに、福祉ボランティアに関する意識を醸成して、誰もが高齢者や障害者などに自然に快く手助けできる「心のバリアフリー」社会の実現を目指します。

### （2）交通バリアフリー教室の実施状況

中部運輸局管内における交通バリアフリー教室の開催実績は、平成14年度から平成30年度（平成31年1月時点）までの合計で252回、約19,600人の方にご参加頂き、心のバリアフリーの普及促進に向けた啓発活動を行いました。

年 度	開催回数	参加人数	年 度	開催回数	参加人数
平成14年度	2回	62人	平成23年度	29回	3,272人
平成15年度	3回	101人	平成24年度	21回	1,474人
平成16年度	4回	226人	平成25年度	19回	1,414人
平成17年度	8回	291人	平成26年度	14回	1,707人
平成18年度	19回	1,139人	平成27年度	11回	987人
平成19年度	20回	1,201人	平成28年度	10回	1,270人
平成20年度	23回	1,892人	平成29年度	7回	652人
平成21年度	18回	1,252人	平成30年度	15回	723人
平成22年度	29回	1,976人			

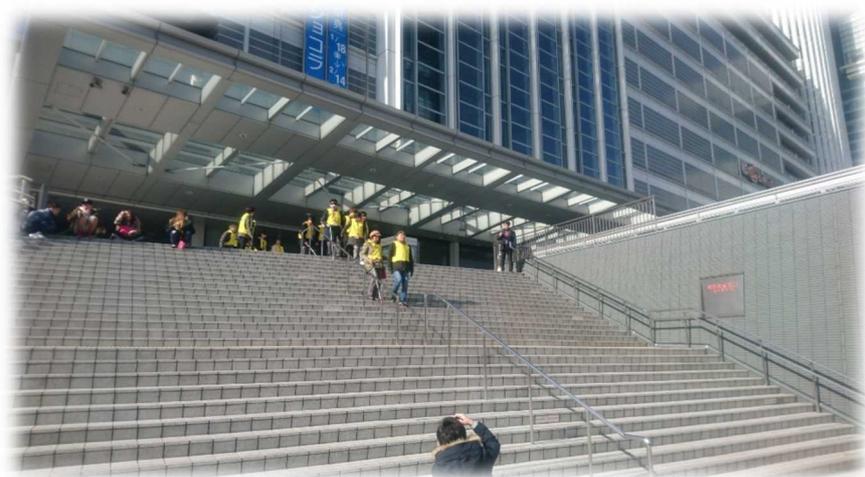
### （3）実施概要

中部運輸局管内において平成30年度に実施したバリアフリー教室は、管内

で合計15回開催し、合計723名の方々に参加いただきました。  
平成30年度に開催した交通バリアフリー教室の一部を紹介します。

開催日程：平成31年1月30日（水）  
開催場所：JRゲートタワービル・タワーズガーデン付近  
主催：中部運輸局（交通政策部消費者行政・情報課）  
協力：愛知県・名古屋市・名古屋市社会福祉協議会・名古屋市交通局・伊勢市・浜松市・交通エコロジー・モビリティ財団・JR東海・名古屋鉄道・近畿日本鉄道・名古屋臨海高速鉄道・名鉄バス・大成建設・安部日鋼工業・東芝・名鉄百貨店・ジェイアール東海高島屋・中部大学・日本福祉大学・AJU自立の家・KOSUGE・富士通  
参加者：名古屋駅近隣で働く人や公共交通事業者、及び大学生など61名

運輸局では、高齢者や障がいのある方の自立と社会参加が可能な共生社会の実現に向け、「バリアフリー教室」を開催しています。今回はリニア新幹線開通を控え、中部玄関口としての機能を増大させるJR名古屋駅の周辺にて、近隣で働く人や公共交通事業者等の参加者に疑似体験・障害者との意見交換・ワークショップを通じ「障害の社会モデル」を再認識していただき、中部の玄関口としてふさわしい「心のバリアフリー」マインドの醸成を図りました。



JR名古屋駅前のタワーズガーデンで視覚障害の疑似体験



JR ゲートタワービルで車いす  
使用者の疑似体験



ワークショップ参加者による寸劇

開催日程：平成30年10月19日（木）  
開催場所：一宮市立西成小学校  
主催：愛知運輸支局  
共催：公益社団法人 愛知県バス協会  
協力：名鉄バス(株)  
参加者：小学2年生 62名

ピクトグラム解説による高齢者や体の不自由な方への配慮等マナークイズを取り入れて説明しました。車いす体験では、実車による車いすやベビーカーの乗降方法説明及び車いすの疑似体験をして頂きました。



体の不自由な方への配慮等マナークイズ  
ピクトグラム解説の様子



車いす乗降体験

開催日程：平成30年11月27日（火）  
開催場所：三島市立坂小学校 校舎内及び体育館等  
主催：静岡運輸支局  
三島市  
社会福祉法人三島市社会福祉協議会  
協力：三島市身体障害者福祉会  
株式会社東海バスオレンジシャトル  
静岡トヨタ株式会社  
参加者：小学校4年生 13名

参加者は、視覚障害者の杉山さんからの講話、アイマスク体験・車いす体験・福祉車両体験・バス乗降体験をしました。参加者は、障害者の気持ちになり、乗降体験やユニバーサルデザインについても学びました。感想を発表した参加者からは、今まで知らなかったこと、体験して初めて分かったことなどが聞かれました。



視覚障害者の杉山さんと盲導犬



段差に見立てた障害物の乗り越え



福祉車両乗降体験やUDの理解



福祉バス乗降体験



視覚障害の疑似体験



代表者発表

開催日程：平成29年10月1日（日）  
主 催：岐阜運輸支局  
開催場所：高山市・中津川市・大垣市  
参加者：232名

公共交通の利用は、その情報の取りにくさがゆえに、普段利用していない方にとってはハードルが高いとの声が散見されます。高齢化等に対応して、様々な分野でIT技術の導入が進んでいますが、利用者の知識やスキルが追いついていないことが話題として多く取り上げられています。公共交通の分野では依然として紙媒体の需要が高いですが、紙面では情報量の限界があり、全ての利用者の利便性向上に向けた取り組みが必要です。

そこで、既にデジタルで公共交通の経路や時刻等が検索できる地域において、高齢者等の情報取得に対するバリア解消について取り組みました。



デジタル機器で公共交通の経路や時刻等の検索を体験

(来訪者の主な感想)

「普段からバスを利用しているか」「利用する時にどうやってダイヤ等を知るか」「検索できることをどう思うか」を体験者に対してヒアリングしました。

- 市やバス会社からもらった時刻表を使っている。ネット検索は慣れれば便利。
- バス停があることは知っていたが乗ったことがない。簡単に調べれるなら乗る機会が作れそう。
- ネット検索は知っていたが、コミバスまで調べられることは知らなかった。
- バス専用のスマホアプリが便利。
- 液晶画面は外で見づらいこともある。検索結果の文字が小さい。
- 自宅近くのバス停の時刻表が印刷できるのはありがたい。

開催日程：平成30年10月30日(火)

開催場所：名張市立蔵持小学校

主催：三重運輸支局

名張市

緑が丘コミュニティバス運営協議会

公益社団法人三重県バス協会

三重交通株式会社伊賀営業所

参加者：小学校2年生 32名

バリアフリー対応車両により、車椅子での乗降方法の説明をうけて、参加者は車椅子の疑似体験を行いました。



バスの乗り方・マナーの講義



車いすの疑似体験

開催日程：平成30年10月25日（木）  
開催場所：坂井市加戸小学校  
主催：福井運輸支局  
協力：社会福祉法人坂井市社会福祉協議会  
京福バス株式会社  
公益社団法人福井県バス協会  
参加者：小学校4年生 40名

参加者は、福祉や疑似体験について説明を受けて、シニア体験（文字記入、硬貨取り出し、階段歩行、雑巾がけ）、車いす体験（段差体験、ボール拾い、カラーコーン及びマットを使用した障害のある通路の走行）、バス乗降体験（バスのバリアフリー設備等について説明、車いすを使用したバス乗降）の3コースを班に分かれて体験をしました。

（参加者の感想の一部）

- 疑似体験を終えて、参加者からは、障害者の手助けをたくさんして、思いやりの心を作って行きたいと思いました。
- バス乗降体験をしたときは、バスはこんな工夫をしているのだと思いました。みんなが使うバスは誰でも乗れたり降りたり出来るようにされているのを初めて知りました。
- シニア体験でお金を出すときに数字が見えなくてとても時間がかかりました。自分の名前を書くときにもマスが見えにくく、他の人が書いた文字も見えにくく大変苦労しました。

